

9月オレンジ第2園だより

令和3年9月1日発行

明けないコロナ渦の中で、子どもたちが元気に楽しく過ごせる日々が待ち遠しい毎日です。保護者の皆様におかれましても、明日は我が身に降り注ぐかも知れない不安の中でお過ごしかと察しています。コロナ感染で休園する保育園も増えています。どんなに感染対策を強化しても外から持ち込む感染源は防げなく、お互いが危機感を強く持っています。

8月は、旧盆前から緊急事態宣言延長のため、十分な保育活動もできませんでした。水遊びや砂・泥・色などに触れながらあそぶ姿がありました。9月は色々な素材に触れながら動くおもちゃを作って遊ぶ計画をしています。10月のミニミニ運動会に向けて体を動かし運動に親しみながら親子で楽しめるよう準備を進めてまいります。一日も早いコロナの収束を願うばかりです。



お知らせ



8月にお配りした現況届は9月20日までは保育園に提出して下さい。尚、個人で直接こども課へ届けられた方は、その旨保育園にもお知らせ下さい。

現在の3歳児クラスのお子さんの現況届は、次年度、転園申し込み時の11月に提出となります。その時にご準備して直接申し込む「子ども園」か、転園の場合はこども課へと提出となりますのでご了承下さい。近づきましたら改めてご案内します。



8月は登園した子が少なく、9月のクラス便りの発行は、いたしませんのでご理解下さい。

9月生まれのお友達紹介

ほしぐみ・・・金城ひなたさん 9月19日1歳です。
にじぐみ・・・高良みつきさん 9月5日 2歳です。
そらぐみ・・・河本ののかさん 9月22日 3歳です。

保育園では、誕生日の日に、お友達の前に出てみんなにお誕生日を祝ってもらいます。特別に給食の時に座るところや配膳盛り付けを工夫し、本人が今日の日を喜ぶように配慮して行っています。月の終わりには、全員がお誕生特別メニューを楽しみます。

お誕生日を祝う！子どもにとって本当に楽しみな日です。自分が主役となり皆が自分に注目し心から祝ってもらえる。そんな特別の日を大切にしたいと思います。

9月の行事予定

お話聞いて・歌って・作って遊ぶ月間です。

十五夜・・・秋を感じながら、お月見を楽しむ
祖父母への感謝を育てる・・・お招き会はできません
素材を利用した玩具作り・・・動くおもちゃで遊ぶ

- 2日(木) —— 持ちもの点検
- 17日(金) —— 避難訓練・・・お昼寝時の避難
- 18日(土) —— 午後職員研修・午後家庭保育協力
- 20日(月)・・・敬老の日で休日
- 23日(木)・・・秋分の日で休日
- 24日(金)・・・発育測定・マッサージ
- 28日(火)・・・お弁当の日

きれいなお部屋・片付けられた快適な部屋・・・「子どもは教えられたことより・観て覚えた事が身に付く」

最近、保育園では整理整頓をスローガンにきれいな部屋空間を目指して、子どもと一緒に片付けを意識しています。ご家庭では、家事・子育ての真ただ中、片付けや掃除が一番大変ですよね。

そこで、掃除のワンポイントを紹介いたします。毎日10秒の掃除タイムで頑張りましょう！

- ① 洗面所の鏡拭き・・・お風呂上がりの結露を利用して10秒拭く・・・使用済みタオルで
- ② ガス台の吹きこぼれ・・・鍋を下ろしたら熱いうちにすぐ拭き取る・・・カットした古布を水に濡らし10秒で
- ③ 洗面所の洗面ボウル磨き・・・使い終わったキッチンスポンジを使って一回グルンとひとまわし
- ④ フローリングワイパーがけ・・・ほこりは8時間で落ちるので朝の目覚めの時、さっとワイパーで一拭く
- ⑤ トイレ便座の裏を拭く・・・クエン酸水のスプレーボトルを常備し、トイレが済んだらスプレーして一拭く
- ⑥ トイレの床ふき・・・子どもが踏ん張っているとき応援しながら・紙でさっと拭く

すぐに使えるように、タオル・スポンジ・等々手の届く場所に置く工夫しましょう
このような工夫した掃除の仕方を毎日の生活の中で習慣づけて実践できるといいですね。

きれいな空間・整理整頓・片付けの習慣は「生きる力」にもつながります。生活する上で計画的に見通しを持ちながら生活力として身につけると、金銭感覚・生計の立て方や配分の仕方も上手になります。

「片付けなさい!」「ちらかさなさい!」と指示・命令・禁止ではなく、大人が片付ける・一緒に片付けよう!と誘う。どこに片付けようかと質問をして考えさせ、片付ける場所をきちんと決めておき

きれいにできたね!・いつもきれいにしてありがとう・としっかりほめましょう



保健だより

沖縄の新型コロナウイルス感染爆発の第5波は1日の感染者数が8月の第4週目で800人を超える等、世界的に見ても最悪状況が続いています。那覇市内の保育園など就学前教育保育施設で週に40人~50人程度の感染者が確認されています。その内訳は家庭内感染が最も多く発熱、乾いた咳の症状が出ます。子どもが重症化することは大人と比べると少ないようですが、大人と同様に呼吸状態が悪くなることもあります。2歳未満の子どもは比較的重くなる傾向にあるようで注意が必要です。子どもが苦しむ姿は、あまりにもかわいそうで見ていられません。今一度、不要不急の外出を控え、人の集まりを控える等、我身を護る対策をお願いいたします。※発熱が無くても鼻水や咳が数日続いている場合なども本人の免疫力が低下して感染しやすい状態ですので、登園を控えて自宅で安静に過ごさせて下さい。ご協力よろしくお願いたします。

特別保育期間中の登園自粛のご協力ありがとうございます。